

# 行政報告

市議会十二月定例会が十二月五日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。



## 着実に整備を進めます

### 大館駅と東大館駅が直結 都市計画道路

十二月四日、弁天町から昭和児童公園脇を通り常盤木町までの三百五十六m区間の大館駅東大館線が供用を開始しました。このうち昭和児童公園脇交差点から常盤木町の百三十六m区間は、車道幅十

五mの暫定的な供用となります。この区間の歩道部分工事は来年三月までには完成します。

この開通で、国道七号と並んで大館の新たな都市軸が完成します。利便性が増すばかりでなく、周辺地域の開発も期待され、商業振興の面でも大きな役割を果たすと考えています。

また、去る十一月二十八日には、平成三年から秋田県が進めてきた樹海ライン「雪沢工区」が供用開始されました。これにより、立石踏切などの交通の難所が解消され、雪沢地域住民の利便性が向上するとともに、樹海ラインを利用しての観光振興にも大いに寄与するものと期待しています。



## ドーム効果絶大

市制施行五十周年記念事業として、十月三十一日から七日間にわたり第百二十四回秋田県種苗交換会が開催されました。隣接の青森県や岩手県はもとより関東周辺からも来場者があり、七十六万五千人にのぼる参観者数を記録し、盛会裏に終了しました。

今回の種苗交換会は、大館樹海ドームとその周辺の広大なスペースを利用し、協賛行事の各種展示や露店・食堂など主会場を一カ所に集中するという、これまで例のない形でした。そのため会場周辺の交通渋滞が懸念されましたが、大館警察署を初め関係者のご協力により、各駐車場と会場を結ぶシャトルバスの運行もスムーズに行われました。

また、協賛会に出展した方々や市内のホテル・旅館を初め大型店などでも、売上げに好影響があったとの報告も受けていて、地域経済へも大きな効果があったものと



## 秋田県種苗交換会

確信しています。これにより、多目的に使用される樹海ドームの可能性をまた一つ広げることができたものと思っています。

米の過剰を背景に農業は厳しさを増しています。今回の交換会は、農業関係者のみならず、地域住民が農業を体感し、そして考える絶好の機会になったと思います。交換会にご尽力いただきました関係各位とご理解ご協力をいただきました会場周辺の皆さんに、改めて感謝とお礼を申し上げます。

## 求人開拓に取り組みます

当地域では、IT関連の製造業やアパレル部門での受注が減少しています。このためリストラ等による人員整理が進み、十月の有効

求人倍率は〇・三九倍と昭和六十年の鉱山不況以来の低水準となっています。

これまで市では、関係団体と連